

20年9月定例会

可決された主な議案



溝口図書館

学校耐震工事に備え積立

九月定例会は九月十日から二十六日までの十七日間の会期で開かれ、三十五件の議案を審議可決しました。

平成十九年度決算

本定例会で決算審査特別委員会に審査を付託された平成十九年度決算を認定しました。

◎一般会計

- 歳入総額 六十九億八千九百九十七万円
(前年対比 一・二%増)
- 歳出総額 六十六億四千七百九万円
(前年対比 一・四%増)

◎特別会計

- 歳入総額 四十五億八千九百十万円
- 歳出総額 四十五億五千二百六十八万円

平成二十年度補正予算

◎一般会計

歳入歳出それぞれ三億五千百万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ六十三億二千七百万円とした。

○歳入(確定による補正額)

- ・ 地方交付税 一億四百五十万円増
- ・ 前年度繰越金 二億四千七百七十万円増

○歳出

- ・ 公共施設等整備基金積立金 二億三千万円増
- ・ 予定納税還付金 三千三百八十九万円増
- ・ 障害者福祉費過年度返還金 四百八十七万円増
- ・ デジタル化調査設計委託料 七百二十六円増
- ・ 伯耆町クリーンセンター修繕料 四百九十六万円増
- ・ 学校耐震診断設計委託料 千八百八十八万円増
- ・ 予備費 三千六百九十万円増

◎国民健康保険特別会計

- 今回補正額 九百三万円増
- 補正後額 十二億三千四百四十万円

◎老人保険特別会計

- 今回補正額 四百十六万円増
- 補正後額 一億九千九百二十三万円

◎有線テレビ放送特別会計

- 今回補正額 千五百三十九万円増
- 補正後額 二億千六百二十四万円

条例改正

○伯耆町図書館整備基金条例

図書館の医療(癌)関連図書充実のため寄附金を受け、基金設置し、計画的に整備を図る。

○伯耆町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

地方自治法一部改正により議員報酬に関する規定整備によるもの。

○町道路線認定

- ・ 町道殿河内十三号線(住宅団地内道路)
- ・ 町道船越一号線(水源地、配水池に至る道路)

○伯耆町議会会議規則の一部改正

地方自治法一部改正に伴い、議会活動として全員協議会を会議規則に規定するもの。

監査報告

十九年度「決算審査意見書」(要旨抜粋)

.....略

「結論」

①一般会計並びに各特別会計いずれも計数は正確であり、適正であることを認めた。

②前年度に引き続き、人件費、物件費など経常経費が削減され、財政健全化に努力されている。

合併後、三ヶ年が経過し合併協議会での決定事項も、財政状況を勘案しながら慎重に進められている。引き続き町民のコンセンサスを得ながら、進捗に努力されることを期待する。

政府の重要政策運営の基本方針「骨太の方針2008」に引き続き、歳出削減が盛込まれていることから、地方交付税など財源確保は非常に厳しい状況である。

また、町税の減収もすでに予測されており、財源不足は確実に深刻な問題である。

今後も引き続き事業の見直し・廃止、施設の統廃合等による投資経費の抑制、さらなる人件費や物件費等経常経費の削減各種補助金・負担金の見直し、起債の抑制、高利率の地方債の繰上償還、すでに指定管理者に委託している事業についての見直しなど、あらゆる角

度から徹底した検討を行う必要がある。

全職員一丸となって行財政運営の健全化に努力し「森と光が織りなすうるおいのまち 共生と交流の伯耆町」の実現を図り、町民の負託に応えられるよう期待して決算審査意見とする。

監査委員

遠藤 政明

入江 正美